科目名	授業形態	担当教員名				
理学療法管理学 I	講義	坂東 恵美子				
時間数(単位数)	授業回数	年次	開講時期			
15 時間 ( 1 単位)	8 回	1 年次	後期			
<b>海業の日的・脚</b> 亜						

理学療法士に求められる役割・知識を踏まえて、良質な理学療法提供のために、自己管理も含めて理学療法場面 におけるリスク管理やマネジメント、さらには理学療法士を取り巻く社会保障制度について知る。また、理学療 法士養成カリキュラムにおける臨床実習の形態とその目標・用語について知る。

# 授業の到達目標

理学療法士に求められる管理・マネジメントについて理解できる。理学療法士の自己管理、情報の管理、医療事 故 (アクシデント、インシデント) への対応、感染対策について説明できる。社会保障制度 (主に医療保険制度、介護保険制度) について説明できる。理学療法士養成カリキュラムの臨床実習について、その形態・目標

	「力酸床映画及」について説明できる。壁子療伝工養成ガサキュノムの臨床美質について、その心態・自信・ Fを説明できる。
授業	計画
口	内容
1	理学療法士と管理・マネジメント
2	理学療法士と自己管理1 (PDCAサイクル、論理的思考力・プレゼンテーション力の必要性について)
3	理学療法士と自己管理2(コミュニケーションスキル・信頼感の必要性について)
4	理学療法士と情報の管理(理学療法士と記録、診療録について、個人情報保護法)
5	リスクマネジメントと理学療法1 (リスク管理とは、医療事故 (アクシデント・インシデント)・その報告と安全への取り組み)
6	リスクマネジメントと理学療法 2 (院内感染と感染対策、医療現場における清潔・不潔)
7	理学療法士を取り巻く社会保障と保険制度 諸制度、特に医療保険制度、介護保険制度について
8	理学療法士養成カリキュラムにおける臨床実習について

## 成績の評価法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
定期試験		
レポート	60%	
小テスト	40%	毎回講義内容の課題を提出する。2回目の講義より、前回の講義の小テストを実施する。
平常点		
その他		
自由記載		

### 教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
理学療法管理学	奈良 勲	医歯薬出版株式会社

# 自由記載

参考	文献

書名	著者・編集者名	出版社名
15レクチャーシリーズ理学療法テキスト 理学療法管理学	長野 聖	中山書店
理学療法管理学	植松 光俊	南江堂
Δ A ⇒1±4.		

## 自由記載

# 備考